

研 究 費 採 択

年 度	種 目	代表・分担の別	研 究 課 題 名	交 付 金 額
H10年 ～11年	奨励研究 (A)	代表	IL-6による神経細胞死制御機構	1,900 千円
H11年 ～12年	基盤研究 (C)	分担	神経細胞死におけるサイトカインの機構制御と脳神経外科疾患の臨床応用	3,400 千円
H13年	昭和大学 共同研究	分担	神経救急疾患のラジカルからみた病態解明と新規脳保護法の開発	1,000 千円
H15年 ～17年	若手研究 (B)	代表	オレキシンの脳虚血における動態と機能解明・基礎的研究と臨床的アプローチ	3,500 千円
H16年 ～17年	基盤研究 (C)	分担	フリーラジカルから見た神経救急疾患の病態解明と新規治療法の開発	3,500 千円
H16年 ～17年	昭和大学 共同研究 基盤研究 (C)	分担	神経救急疾患におけるフリーラジカルモニタリングの開発	1,000 千円
H17年 ～18年	基盤研究 (C)	分担	脳障害のフリーラジカルモニタリングとその基礎研究	3,200 千円
H18年 ～19年	昭和大学 共同研究	代表	脳損傷における活性酸素の動態解明・gp91KO マウスを用いた基礎的検討	3,690 千円
H18年 ～20年	昭和大学 共同研究	分担	重症脳損傷における酸化ストレスの動態	1,000 千円
H18年	財) かなえ医薬 復興財団助成金	代表	脳低体温療法における生体酸化抗酸化バランスについて	2,000 千円
H19年	日本交通科学協 議会：医療から みた交通事故と 障害に関する研 究	代表	重症頭部外傷における「医療の質」の評価方法の開発	1,000 千円
H19年 ～20年	基盤研究 (C)	分担	体内酸化ストレス度からみた脳障害病態のフリーラジカル産生とその基礎的研究	4,550 千円
H21年 ～22年	基盤研究 (C)	代表	重症脳損傷における NADPH 酸化酵素産生フリーラジカルの機能解明と臨床応用	4,550 千円
H21年 ～22年	若手研究 (B)	分担	実験的マウス頭部外傷モデルにおけるエダラボンの一酸化窒素消去能について	2,340 千円
H22年 ～26年	基盤研究 (C)	代表	重症脳損傷後におけるアルツハイマー病の発症機構の解明と新規予防法の開発	5,070 千円
H23年	JA 共済交通事故	代表	外傷性脳損傷における PACAP による	1,000 千円

H23年 ～28年 (予定)	医療研究助成	分担	神経細胞死 防御とその分子制御機構の 解明	46,410 千円
	基盤研究 (A)		神経損傷防御の基盤研究とトランスレー ショナルリサーチ	
H23年 ～27年 (予定)	挑戦的萌芽研究	分担	ペプチド・タンパクの点鼻投与による神 経疾患の予防・治療法の新戦略」	3,770 千円
H26年 ～29年 (予定)	基盤研究 (C)	代表	重度熱中症における中枢神経障害の発症 機構の解明と新規予防・治療法の開発	4,680 千円